

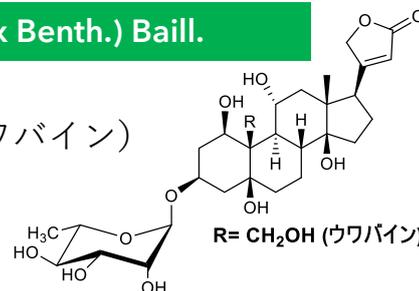
毒矢の原料！その知恵に感服

ニオイキンリュウカ (キョウチクトウ科)



Strophanthus gratus (Wall. et Hook. ex Benth.) Baill.

部位	種子
成分	G-ストロファンチン (ウワバイン) (強心配糖体)
薬理	強心作用、利尿作用
用途	強心薬



熱帯アフリカ原産の常緑つる性低木。この属の植物は約40種類知られていますが、最も美しい花が付きます。また、写真の様に枝先に密集して咲き、芳香が漂います。結実の一つで、牛の角のような果実の中に綿毛のついた種子が入っていますが、残念ながら当園では2009年以来見られません。アフリカ原住民は狩猟のための矢毒に使用していました。成分のG-ストロファンチンは心臓への毒性が強く、獲物を仕留めます。その成分は水溶性のため、水洗処理すれば仕留めた獲物を食することが出来ます。また、少量の毒が残っていたとしても消化管からの吸収が悪いので大丈夫ということになります。かつては、日本を含む世界中で、G-ストロファンチンは心不全や狭心症の治療薬として医療で用いられていましたが、現在は使用されていません。その時も経口投与だと吸収が悪いため、注射剤として用いられました。アフリカ原住民の知恵に感服です。また、身近にあるキョウチクトウ科の植物は有毒植物であることが多いのでご注意ください。

シロガラシ (アブラナ科)

鼻にツンとこないホワイトマスタードの原料

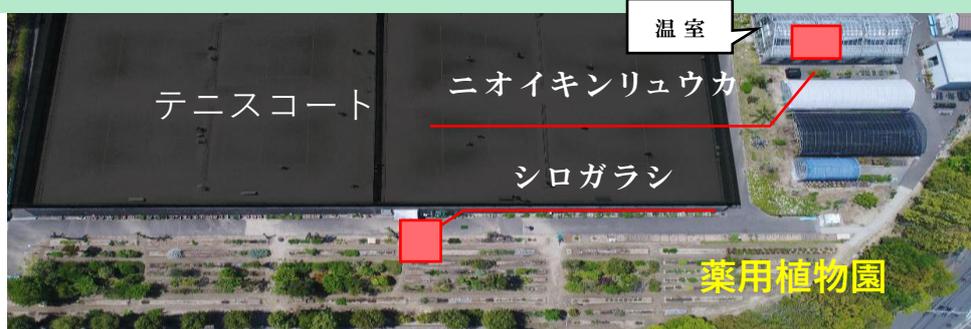
Sinapis alba L.

部位	種子
生薬名	辛子、白芥子 (ハクガイシ)
成分	シナルビン
薬理	去痰作用、鎮痛作用、抗菌作用
薬能	温化寒痰薬
用途	日本の漢方薬には配合されない。辛味料

中国薬典に収載



地中海沿岸が原産とされる一年草。スパイスで知られるホワイトマスタードの原料として栽培されます。特に、欧米では最も多く使用されているマスタード種であり、ホットドッグやハンバーガーに欠かせないものです。一方、おでんに欠かせない「和からし」はカラシナ (*Brassica juncea*) が原料となります。カラシナにはシニグリンが含まれ、アリルイソチオシアネートが生成して鼻に抜ける強い刺激性の辛味がありますが、シロガラシにはシニグリンはほとんど含まれず、シナルビンが含まれています。シナルビンは鼻に抜けない辛味を生成します。中国では、激しい咳や痰を取り除くために利用されますが、日本ではあまり利用がありません。また、ジャガイモなどの根菜類を栽培する畑ではセンチュウを予防するための緑肥として使われています。



ホームページでも
ご覧いただけます